

西館

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	9	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の視点に立ち、笑顔をキーワードに理念をあげ個別のサービスを行っている。毎年スタッフ全員でユニット目標を立て、理念に基づいたケアを目指している。	1	地域の人や家族・職員で話し合う場をもち、更に地域密着型サービスとして支援していけるようにしていきたい。
		2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関やフロアに掲げているが、意識的に理念について話し合う機会は少ない。職員個人では理念に基づいた目標を立て、日々のケアに取り組んでいる。	1	今後は定期的に理念についての話し合いの場を持ち、全職員が意識づけできるように取り組んでいきたい。
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	年に3～4回地域版広報を作成し、家族向けの個別の便りも郵送しており、理解し易く取り組んでいる。入居時には必ず説明し、理解して頂いている。	0	
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩やゴミ拾いに行った時など、近所の方々には積極的に挨拶をしている。近所の子供たちが遊びにきてくれたこともある。	0	
		5	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域での行事（保育園の運動会など）に参加しており、餅つき大会や太鼓などの行事や避難訓練を行う際は地域の方々に参加の呼びかけを行っている。	1	今後も積極的に地域に呼びかけを行っていき、交流を深めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	周囲のゴミ拾いを入居者の方と一緒にしている。ボランティアや実習生の受け入れを行っている。	1	地域の方が気軽に来て頂けるよう、呼びかけを行っていききたい。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員間で評価の意義を理解しながら全職員で取り組んでいる。改善点について皆で話し合い、評価を活かしながら取り組んでいる。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では行事や日頃の様子を報告し協働できる部分やアイデアを出していただき利用者がより良く過ごせるようにしている。地域行事の案内や、協力して頂けそうなグループ、個人など。会議では研修の様子、外部評価の結果やこれからのケアの方向性など多岐にわたり意見交換等を行っている。	1	運営推進会議を活用していくと共に地道な活動をしていながら地域との連携を行なって行きたい。
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	勉強会などの講師で来ていただいたり、少しずつであるが関わりを拓けている。運営上の解りにくい点については電話等を通じて何でも相談している。事故報告書等の提出は直接持っていく話す機会を作っている。	0	
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	入居者の方が実際に成年後見制度を利用されており、地域権利擁護事業と成年後見制度について勉強会を実施し学んでいる。玄関には相談窓口のパンフレットを置いている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスの時などに虐待防止に関して意識づけを行っており、日頃から自己の入居者に対するケアのあり方を振り返るようにしている。	1	今後は高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち(勉強会の実施や研修会への参加)、虐待についての認識を全職員で深めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	2	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約の際は料金を始め具体的な部分についても、利用者ご家族に説明を行っている。解約時にも納得がいくように対応している。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃からコミュニケーションを密に図り、表情・行動・言動の変化に注意しながら気持ちを汲み取り、受け入れるよう努めている。	1	第三者による相談員の派遣を検討しているが、メリット・デメリットがある為、慎重に進めていきたい。
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時には暮らしぶりやエピソードなど近況報告を行っており、定期的に写真を載せたお手紙を個別に郵送している。体調不良時やアクシデントが起きてしまった際はその都度早めに電話で伝えている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。家族と職員間の関係を大切に、不満や苦情が言い易くあるよう努めている。	1	家族アンケートを実施した結果、苦情窓口を知らない方もおられ、再度説明し明確化していきたい。
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや申し送りの時に意見や提案を受け、現場で対応出来ない場合は、意見提案を全体の会議にて検討している。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の要望に柔軟な対応ができるよう、併設ユニットの職員が応援に来るなどして対応している。	0	限られた人員で入居者や家族の要望により柔軟に対応していけるよう、定期的に業務を見直し勤務調整を上手く行っていきたい。又、組織へ人員配置の要望を出していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職は最小限に抑え、代わる場合は入居者個々に合わせた伝え方をしている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の年齢や性別に採用基準は特にない。採用した職員一人一人の特技、能力を活かして力を發揮できるように役割を持って仕事をしてもらっている。	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	一般の研修会等で人権教育の講習会講習会参加や日頃のケアの中で人権に関する話を行なっている。又「倫理」に関する本を毎朝読んで意識の向上に努めている。	0	
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	公的な機関の研修や、民間の研修機関の案内を広く情報を提供し、学ぶ機会を提供している。必要な研修においては年間の計画を立て、出来るかぎり参加できるように配慮している。資格取得などについては勤務の配慮を行なっている。法人ないの勉強会を定期的に行なっている。研修後の報告会をもっとやって行きたい。	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護サービス事業者協議会のグループホーム部会などで勉強会や、レクリエーション等を通じて同業者の交流を行なっている。よそのグループホームの一日研修をさせて頂き質の向上に取り組んでいる。	1	他のグループホームと相互研修の受け入れを検討していきたい。
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年2回の全体でのレクリエーションや野球チームを作り親睦会を図っている。各部署ごとに職員歓送迎会の補助金が支給されていてストレスの軽減に活用している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員が資格取得や研修に行く事に協力的であり向上心に対して評価を行っている。(資格取得者の表彰や資格手当)	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価 4項目・外部評価 1項目	1	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りと その 対応	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時に本人の状態状況が、細部にわたって分かるように、本人さんに直接面談し話しを聞くようにしている。	1	入居時が早めに分かっていたら職員の配置を多くして、入居時の対応が出来るようにしているが、今後は初期の対応についてもっと関わりが出来るようにしていきたい。
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時に家族が置かれている状況をしっかり聞いて、望んであることを把握するようにしている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その方の置かれている状況を確認し、本当に入居を必要としているのかを検討している。これまでのサービスで対応できるようであればすぐに入居へとつなげずいろんなサービスの提案等を行なっている。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなり入居するのではなく、入居前にショートステイを利用して頂いたり、何度か訪問して頂いたり、宿泊体験等もして頂いている。	0	
	2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価 6項目・外部評価 1項目	0	
係り と これ まで の 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理や趣味等、入居者が得意とされる事柄について話を聞き、教えて頂く機会をもっている。茶碗洗いや洗濯畳み等の家事やテレビ観賞等を一緒にしながら喜怒哀楽を共にしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族来訪時は近況を報告し、お茶を飲みながら一緒にゆっくりと過ごして頂いたり、希望される時は一緒に外出して頂いている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の思いと本人の思い、それぞれを大切にし、両者の思いが結びつくような働きかけを心がけている。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前のかかりつけ医を入居後も引き続き受診することで馴染みの関係を続けたり、昔からの友人と継続的な交流ができるように支援している。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関わり合いがより多くもてるよう職員がきっかけを作ったり、入居者一人ひとりの個性が上手く活かせるよう配慮している。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居して他施設へ入居された方の所へは、仲の良かった入居者と一緒に訪問したり、こちらにも遊び来て頂いている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	2	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃からコミュニケーションを大切にし、一人ひとりの思いを聞いたり、意思疎通が困難な方には言葉や表情等から思いを汲み取れるよう努めており、家族からも情報を得ている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や家族来訪時に生活歴や馴染みのものを聞いたり、入居者本人に聞いたりしてこれまでの暮らしの把握に努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活リズムやその変化を把握するよう関わりを大切にしながら記録をきちんと行い、職員間で共有できるようにしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族に思いや意見を聞き、入居者の生活の質が少しでも向上できるよう職員全員で意見交換を行いながらそれらを反映させた介護計画を作成している。	0	
		39	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しを行う際は本人や家族の要望を取り入れつつ期間終了前に行い、状況が大きく変わった場合はその都度見直しを行っている。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践等は個別記録にきちんと記入し、書式もより把握しやすいように工夫している。職員の気づきや工夫等については口頭での申し送りはしているがあまり記録はできていない。	1	記録の仕方について再度勉強し、見直していきたい。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 柔軟な支援	41	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居時はいきなり入居するのではなく、ショートステイを利用し徐々に慣れて頂いたり、居室に空きがあったら入居に関係ないショートステイもやっている。又、宿泊体験も行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員や自治会長など運営推進会議を通して意見交換を行い、地域への働きかけ、協力を得ている。専門学校の実習生の受け入れや地元の施設の活用を行なっている。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の希望に応じて訪問理美容サービスを利用したり、ヤクルト訪問販売も利用している。	1	他にも利用できるサービスがないか検討していきたい。
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に毎回包括支援センターの職員が参加され情報交換を行なっている。地域の情報を教えてくださり、グループホームの役割として出来ることを進めて行きたい。	0	
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人、家族の希望を取り入れている。又協力医療機関への受診は通院介助を行なっている。家族の協力が得られる方や家族の協力が必要な場合においてはその都度ご理解を頂き適切な医療が受けられるようにしている。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科の医師とも提携を結んでいるので、相談したりして治療を行っている。	0	
	47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションとの契約に基づき日頃の健康管理や状態変化に応じた相談・助言・対応を行ってもらっている。24時間対応可能。組織の母体が病院なので受診しやすく、日頃より相談活用している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には本人の必要な情報を医療機関に提供し、入院中は医療関係者と情報交換しながら状態把握に努めている。入院中は早く元気になってもらえるよう入居者・職員手作りの鶴等を持ってお見舞いに行っている。	0	
		49 外部評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針を作成し、入居時に説明を行っている。又食事が入らなくなってきたり、状況的に重度化されてきたら、医師より現状の説明及び、家族の意向を確認し今後の方針を定め、支援につなげられるようにしている。終末期は家族の気持ち、本人の思いを尊重し「同意書」を交わして方針の共有を行なっている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「看取り同意書」にもとづいて、医療面は訪問看護や、法人の病院と連携をとり、安心して最期が迎えられるよう、ご家族、ご本人を支える為職員が一体となり、カンファレンス等を開きながら取り組んでいる。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設からの入居者については家族、本人と話し合い、お試しの泊まり、昼間の訪問の受け入れなどで、ダメージを防ぐようにした。併設のデイサービスの利用、ショートステイの利用なども行なえるようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	6	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	5	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
			<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりにその時その時に合った言葉かけや対応を心がけている。記録物の保管については個人情報の重要性を理解し、保管場所や取り扱いに注意している。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自分で選んだり決めたりできることはその都度本人の意思を確認したり、表情を細かく読み取りながらその人らしく暮らしていけるよう支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者への対応を最優先し、できる限り入居者一人ひとりの意思に添えるよう対応を心がけている。(散歩に行きたい時に行けるような支援等)	1	限られた職員数で連携を図ったり業務を工夫したりしながら外出希望にもっと付き添えるように努めていきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみの為にお化粧をしたり、気分合った服を選んでもらったり、気候や活動(外出や館内行事等)に合わせて更衣を促したりしている。理容・美容については毎月1回のビューティーヘルパー(訪問理美容)を利用して頂くだけでなく、本人の希望される近隣の美容室へも出かけたりにしている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根切り野菜切り等、下ごしらえを一緒に行ったり、味見をして頂いたりしている。メニューによって食器を変えたり、身体レベルに応じた個人専用の食べやすい食器を使用しながら、入居者と職員が同じテーブルを囲んで談笑しながら食事を楽しんでいる。食後の後片付けも負担のない程度で一緒に行っている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者一人ひとりの好みを把握し、嫌いなメニューについては別のメニューにて対応している。おやつ等も入居者の好まれる昔ながらのごろしやふなやき等のシンプルな手作りおやつを作っている。	1	今後はもっと本人の好みのものを把握し、好きな時に食べて頂けるよう取り組んでいきたい。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者の様子をみながらそれぞれに合った声かけ・誘導を行い、できる限りトイレで排泄できるよう支援している。一人ひとりの排泄パターンを記録している。	0	
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴日を決めてはいるが、本人の希望や体調により、入浴日以外でもいつでも入浴や清拭ができるようにしている。入居者が入浴したいと思えるような声かけ・誘導の仕方を工夫し、入浴を楽しんで頂けるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の気分や体調により、日中自室やソファ等好きな場所で休んでもらっている。なるべく声かけを行い、生活リズムが整うよう日中の生活を促している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の得意なことが発揮できるようお願いできそうな仕事をして頂き、感謝の言葉をかけるようにしている。趣味のカラオケや習字・観劇・手芸等、楽しみごとを通して気晴らしの支援をしている。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は事務所にて保管しているが、本人が必要とされる時はその都度必要な額を手元に持って頂くようにしている。買い物に行った際はなるべく本人に支払ってもらうように支援している。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日・その時の希望により、戸外へ出かけたいた時はできる限りその都度付き添えるよう支援している。又、こちらからもお誘いの声をかけ、気分転換に散歩に行ったり喫茶店や近くの本屋に出かけたりしている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じ、入居者の意見を聞きながら年間行事をたて、季節の花見や虫見物に行ったり、買い物や外食にも出かけている。家族と共に馴染みの場所へ出かけられることもある。	0	
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書かれた際は入居者本人と一緒に近くの郵便ポストまで入れに行っている。	1	家族と連携を図り、電話ができるように支援していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	来訪された時は気持ちのよい挨拶を心がけ、近況を報告したりフロアや居室等好きな場所で入居者と一緒にゆっくりとお茶を飲んで過ごして頂いている。又、知人や友人の方で会話がスムーズに行っていないような時は様子をみながらスタッフが間に入ったりもしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を行い、職員の知識向上を図っている。日頃から話し合いを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	0		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を全職員で理解してはいるが、入居者の不穏状態により、やむを得ず死角になる玄関等に日中鍵をかけていることがある。	1	できる限り鍵をかけずに安心して快適な暮らしができるよう取り組んでいきたい。	
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は必ず一人は職員がフロアにいるようにし、他職員と連携を図りながら入居者の様子を見守り把握するようにしている。夜間は数時間毎に入居者の様子を確認しており、全体を把握しやすい所に待機し、必要時にはセンサーを利用する等してすぐに対応できるようにしている。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者一人ひとりの状態に応じ、ハサミ等は職員で管理して必要時には見守りを行いながら使用してもらったり、自己管理してもらっている方もある。薬や洗剤等、危険が予測されるものについては状況に応じて目の届かない所に保管するようにしている。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日頃から入居者一人ひとりの状況把握に努め、見守り・確認・環境整備等を徹底しながら事故防止に努めている。もし事故が起きた場合は書類・口頭で報告を行い、安全対策委員会でも検討し、全職員で情報を共有しながら再発防止に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命士による勉強会に全職員が参加し、応急手当について学ぶ機会をもっている。夜間急変時の対応についてはマニュアルを作成している。	0	
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署の協力を得て消火避難訓練を実施している。又、年に4回避難誘導のみと火災通報のみの小訓練も実施している。訓練の際には地域の方へも協力を呼びかけている。災害時のマニュアルも作成している。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	離設や誤嚥・転倒等、一人ひとりに起こり得るリスクについて日頃から家族に伝えるようにしており、事故防止に対しての対応策は家族の方の意見も取り入れつつ取り組むようにしている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの食欲や顔色等、変化がある時はすぐに気付くよう日頃からよく観察している。毎日バイタルチェックを行い、気になる時は申し送りを行いながら様子観察を行っている。状態が重い場合は速やかに管理者に報告し、訪問看護師や併設病院と連絡をとり対応している。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬ファイルを作成し、処方箋のコピーを整理し、全職員が内容を把握できるようにしている。服薬時は誤薬がおきないように日時・名前をその都度きちんと確認してから服用して頂くよう徹底している。又、臨時薬や新しい薬が処方された場合は、特に注意し様子観察を行うようにしている。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄状況を記録し、把握に努めている。日頃から水分をまめに補給してもらい、できる限り身体を動かすよう働きかけたり、腹部マッサージを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは就寝前には毎日行っているが、朝・昼食後はされていない方が多い。義歯の方は洗浄剤を使用して義歯洗浄を行っている。年に1回、訪問歯科による歯科検診を全入居者受けており、アドバイスを受けている。	1	口腔内の清潔保持の為、毎食後に口腔ケアを行えるよう支援していきたい。又、一人ひとりに合った口腔ケアの仕方をより詳しく歯科医より学びたい。	
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給はおおよその時間を決め、本人が好まれる飲み物を提供する等して水分補給を促している。食事は食べ易い形態で提供し、摂取量が減ってきた場合は食事の形態を工夫したり、本人の好まれる物を提供したり、補助食品を提供する等して対応している。	0		
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	勉強会や感染対策委員会に参加し、感染症について学んでいる。日頃から手洗い・手指消毒はきちんと行うようにし、インフルエンザ予防接種は事情がない限り入居者・職員全員受けるようにしている。体調不良時は感染予防の為マスクを着用するようにしている。	0		
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器や調理器具は乾燥機を使用しており、まな板やふきんはこまめに漂白・消毒する等して、衛生面に気をつけている。又、残飯は毎食毎に処分するようにしている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価5項目・外部評価2項目	1	
		82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	地域の人にグループホームと分かるよう、門扉に手作りの看板を作成して掲げている。玄関周りには生花や観葉植物等を飾り、温かい雰囲気作りをしている。	0		
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が多くの時間を過ごす居間は天窓よりやわらかな日差しが差し込み、居間から見える中庭には季節を感じる花や野菜を植えている。食事をする各テーブルには季節の草花を飾るようにしている。テレビはつけっぱなしにせず、時には昔懐かしい音楽や心地良い音楽を流している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席以外に入居者同士がくつろいで過ごせるソファや畳みの部屋があり、思い思いに過ごされている。又、居室以外にも一人でゆっくり過ごせるスペースもある。	0		
		85	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの家具等を家族に持ち込んでもらったり、家族の写真や自分の作品等を飾ったりして心地よく過ごせる環境作りをしている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	入居者本人に聞いたり触れたりし、その時に応じて衣類や気温を調節している。湿温計を置いており、冬場は加湿器を使用して快適に過ごせるように配慮している。におい等にも配慮し、換気や掃除をこまめに行うようにしている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行可能な方はできる限り自力歩行して頂けるよう、危険な物は置かないようにして安全な環境整備に努めている。入居者に応じて滑り止めマットやベットの柵等を使用し、安全面に考慮しながら自立した生活を支援している。過剰な介助にならないよう注意している。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の居室の場所が分かりやすいよう、入口に表札や飾り等で特徴を出している。トイレや浴室は表示をしている。手作りカレンダーや時計も見えやすい位置に設置している。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭で洗濯物を一緒に干したり園芸をしたり、季節の花をみて楽しんだりテラスに座って日向ぼっこをしたりしている。又、気候の良い時は中庭で昼食やおやつを食べたりしている。建物の外周りは散歩や運動も兼ねてゴミ拾いに行ったりしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。